



先進農業者による農業経営の講義



農産経営学 えだまめ工場視察



総合実習 花き栽培事例調査



繁殖実践 人工授精演習



労働衛生・労働管理 軽労化支援技術

## 学科の特色

## Feature of the Department

農業経営研究科は、農業経営者の手腕を高めるための講義と演習、実習を行います。また、6次産業化に向けた農畜産加工、マーケティングなどの技術と知識を高めます。経営形態により、畜産専攻または畑園専攻ゼミで学びます。新規参入・雇用就農コースでは、新規参入(就農)するための道内の就農候補地の選定、就農へのノウハウ修得、就農計画の樹立を行います。

総合実習では学生の研究テーマに応じて先進農家や各専門研究機関などでスキルを高めます。担当職員と専攻ゼミ制により学生が自ら設定した課題の解決に取り組みます。

## 主な科目

農業経済、農業経営、農協・農業団体論、農業法人組織論、財務管理、農業経営税務、農業経営実践論、長期計画演習、専門研究、卒業論文、総合実習Ⅰ・Ⅱ、研究課題計画演習Ⅰ・Ⅱ、6次産業化論、6次産業化実践実習、農業組織計画論、農業機械組織利用演習、農業政策、農業統計、環境保全演習、農業技術概論、先進農業特別実習、労働衛生・労働管理、作物栽培基礎、土壌肥料学、特別講座



6次産業化実践実習



## 農業経営研究科で学んだこと

農業経営研究科 府川 諒祐  
(拓殖大学北海道短期大学出身)

自家は十勝の本別町で畑作と花きの複合経営をしています。私は自家の所得を向上させるのはもちろんのこと、十勝において、年々作付けが減少している花きを普及させたいと思っています。そこで、自家経営の把握や見直し、花き栽培技術の習得をしたいと思い、農業経営研究科に進学しました。

農業経営研究科では、財務管理で自家の経営を分析したり、総合実習を通して先進農業者へ視察、実習に行ったり出来ます。私は自家の花き栽培や畑作物の播種から収穫まで携わり、栽培技術や1年の流れを把握しました。また、花きの産地である北海道由仁町へ視察に行き、地域の特色や栽培法など勉強することが出来ました。このように、自分が学びたいことを自由に決められるのも農業経営研究科の魅力です。

カリキュラムの中には6次産業化実践という実習もあり、校内の加工施設でソーセージやアイスクリームなどの製造を行い、販売までします。消費者に美味しいものを届けるため、学生が意見を出し合い頑張っています。

私は農業大学校に進学して本当に良かったです。私は農業経営研究科に入ったからこそ様々な人の話を聞き、様々な場所を見て、たくさんの仲間が出来、将来のビジョンを見つけることが出来ました。今後も学んだことを土台とし、ビジョンの具現化を目指していきます。



総合実習



環境保全演習



6次産業化実践実習

※専攻ゼミ、新規参入、雇用就農コース毎の必修・選択科目があります。